

# 南白小の未来をえがく！

令和4年11月29日

府中市立南白糸台小学校

校長 西尾 克人

～子供たちの未来が明るくなるように～

第15号

様々な体験活動を行っています。



起震車体験



車いすバスケットボール体験

4年生の体験活動です。起震車、車いすバスケットなど、様々な体験活動を実施しています。起震車では、最大マグニチュード7までの体験ができます。徐々に大きな揺れになり、しっかり手すりにつかまっているのですが、左右に大きく揺れます。地震のすごさを身をもって体験することができました。車いすバスケットでは、実際に車いすに乗ってボールをパスしたりシュートしたりなど、車いすの操作や、車いすバスケットの楽しさを体験しました。実際にやってみることで、長期記憶に残り、学びも深まると感じています。

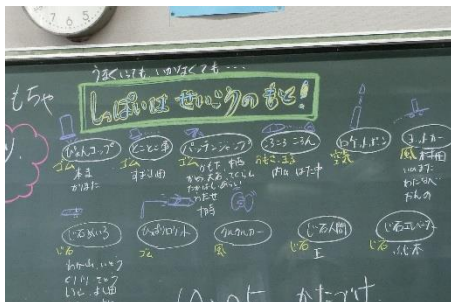
生活科の学習も体験を大事にする教科です。

具体的な活動や体験を通して、身近な生活に関わる見方・考え方を生かし、自立し生活を豊かにしていくための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- ① 具体的な体験とは、見る、聞く、触れる、作る、探す、育てる、遊ぶ
- ② 具体的な活動とは、言葉、絵、動作、劇化などの多様な表現方法

生活科の目標（一部です）

## 2年生活科…「うごく うごく わたしのおもちゃ」(試行錯誤する…試す、工夫する)



試行錯誤…失敗しても大丈夫！



自分のおもちゃに夢中です

工夫する」思考を生かして、夢中になって活動する姿はよいものです。

体験としては、作る・遊ぶ体験になります。試行錯誤を大事にする学習でもあります。黒板に「しっぱいは せいこうの もと」と書かれており、教師の思いが伝わってきました。

「思考・判断・表現」の基礎として、「試す、見通す、工夫する」ことが重視されています。「試す、

## 2年生活科…「うごく うごく わたしのおもちゃ」(グループで教え合う)



もっとおもちゃを改良しよう



ゴムを強く巻いたらよいのでは？

「ゴムをもっと巻いた方がよい」と考えるなど、自分のおもちゃを改良し、粘り強く製作する様子から、がんばりが伝わります、これから1年生に遊んでもらう予定です。

「もっとよいおもちゃにするために、くらべたり、あそんだりしよう」というめあてで学習がスタートしました。

風、ゴム、磁石、おもりを利用して、体育館でダイナミックに学習しました。